2026年11月10日

各　位

日本マクドナルドホールディングス株式会社
代表取締役社長 兼 最高経営責任者(CEO)　トーマス・コウ
（コード番号：2702　東証スタンダード）
問合せ先　執行役員 チーフIRオフィサー　吉田　修子
TEL. 03-6911-6000

2026年12月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年8月7日に公表した2026年12月期の通期連結業績予想を以下のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

1.　2026年12月期 通期連結業績予想数値の修正（2026年1月1日～2026年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想　(A)	408,000	55,500	55,500	35,000	263.24
今回修正予想　(B)	412,000	57,500	57,500	36,500	274.52
増　減　額 (B-A)	4,000	2,000	2,000	1,500	－
増　減　率　(%)	1.0	3.6	3.6	4.3	－
（ご参考）前期実績（2025年12月期）	416,602	53,257	52,051	33,909	255.04

2.　修正の理由

当社グループは、中期経営計画（2025年度～2027年度）において、これからも「日本で最も愛されるレストランブランド」であり続けるために、地域に根差したフランチャイズビジネスの強化・拡大を通じてさらなる成長を目指しております。その具体的な戦略として、「メニュー・バリュー」「店舗ポートフォリオ・デジタル」「サステナビリティ・ピープル」の3つの領域に注力しており、これらの取り組みの相乗効果により、本日公表の「2026年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」のとおり、当第3四半期連結累計期間（2026年1月1日～2026年9月30日）の売上高は3,099億11百万円（前年同期比0.8%減)、営業利益は476億8百万円（同11.0%増)、経常利益は482億41百万円（同13.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は304億3百万円（同12.6%増）となりました。

通期業績予想につきましては、第4四半期は店舗運営コストの上昇が見込まれること、およびさらなる成長に向けた人材・店舗への積極的な投資を予定していることから前年同期比で減益となる見通しでありますが、第3四半期までの業績および足元の売上状況を踏まえ、通期の業績予想を上方修正いたします。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により当該予想値と異なる結果となる可能性があります。

以　上